

## 令和4年度全校朝礼6月【中学】

早いもので、6月、衣替えです。急に白さが目立ち、ぱっと明るくなりました。中間試験を終え、自然体験学習はどうでしたか。大雨で予定も変更になりましたが、これこそ自然なのです。自然には逆らえません。逆らって人は痛い目に遭ってきた歴史もあります。素直に自然を受け入れ、自然に畏敬の念を持つ、それこそが自然体験なのです。そういう意味では、学びは大きかったと思います。

その自然と言えば、その自然を守ること、さらにはこの地球を守るためのSDGsという言葉を知っていると思います。2015年に国連サミットで150を超える加盟国首脳に参加の下、全会一致で採択された案です。「サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ」、「持続可能な開発目標」、つまり持続可能な社会の構築を目指すために17のゴールを立て、その課題ごとに設定された達成基準である169のターゲットから構成されています。その中で、「海の豊かさを守ろう」というものがあります。

聞いた話ですが、海岸に鯨の死骸が流れ着き、調べてみるとお腹の中からはエサと間違っただけで飲み込んだ30キロのプラスチックのゴミが出てきたこと、海には5兆個のプラスチック片が漂っていて、分解されず、長い年月をかけて砕かれ海中で1ミリ以下のマイクロプラスチックとなって千年以上書けて地球を1周すると言われていています。そのため、ゴミの分別をきちんとし、捨てるべき所に捨てる、それをまずはしっかり守ってください。そして、それはちゃんとした資源にもなるのです。有限な資源を大切に使うことも私たちの使命です。

生徒会の活動の「エコキャップ活動」がありますが、まず、その活動はなぜ始まったのか知っていますか。このキャップ回収は、ペットボトル本体やラベルが回収されるのに、キャップだけが資源として活かされないことを疑問に思った神奈川県的女子高校生が声をあげ、市役所に相談したことから始まったと言われていています。

回収するキャップは種類ごとに選別され、チップに砕き、そしてリサイクルの原料となるペレット（加工しやすいように3ミリから5ミリの粒子状にしたもの）という塊になるのです。それは販売され、その収益はユニセフに寄付されたり、国内での災害による被災地支援や障害者や高齢者の支援につながっていくのです。

皆さん一人ひとりの力は小さくても、全校で協力しキャップを回収することは、資源の再利用や困っている人たちの支援につながる立派な社会貢献です。そして、SDGsのための活動なのです。

別の話になりますが、1つ付け加えておきます。17の目標の中には「平和と公正をすべての人に」というものがあります。残念ながら今世界で、大きな戦争、しかも一方的に侵略するという戦争が起こっています。この目標に対し

て私たちは無力なのでしょうか。避難した人を受け入れるとか、隣の国へ避難した人たちに物資を輸送するなどの様々なボランティアが行われています。しかし、皆さんの出来ることは何でしょうか。今はしっかり勉強して、様々なものを学び、吸収していきましょう。そして、政治に参加できるようになったときに、そうして養った力を平和な国を、世界を築くために使うことです。また、今、人を傷つけてはいけない、しかも罪もない人を、人には思いやりをという精神を日々心掛けることが大切です。